

成年
コミック

巨精霊の性

ぎょせいれい

なる雫

せい

1

Presented by Niwahani

ニワハニ

しずく



ここが精霊が住むと
言われている森か：

噂通り神秘的な場所だ
この地ならきつと
あの雫が――

第1話



“聖なる大樹の雫”



精霊の力が宿った
奇跡をもたらすと
言われている
光り輝く雫…

まだ精霊についての
研究はあまり進んでいない

研究者として
謎多き存在である精霊に
ついて少しでも
解明していきたいが…

それにしても
ずいぶん奥地まで
進んだな…

この先には
いったい何が—

!?



巨人…!?



……誰だお主は

ムリッ

わ…私は…
ジェイクと申します
精霊の研究をしていて…

あなたは…?

我は大樹の精霊
バオムールである

こんな辺鄙^{へんぴ}な地へ
わぎわぎ来るとは…
物好きな人間もいたものよ

せ…精霊…!?

実際に見るのは
初めてだ…!!



あの…私は研究のため
精霊の力が宿るといふ
“聖なる大樹の雫”を探していて

不審かもしれませんが
悪用するつもりはないので
何か知っていることがあれば…

その呼称はよく知らんが
精霊^{われ}の力が宿る液状のものは
心当たりがあるぞ!!

聖^{せい}液^{えき}

という液体が
我の身より排出される
おそらくそれではないか?

人間のあいだでは
聖なるナントカと
言われたいのか
おろのか

……せいえき?





聖液を出すには
絶頂する必要が
あるからな

ちくぢッ
...!?



うわっ



ジェイクといったか
お主の身で我を満たして
もらうことになるが

お…俺が精霊に
愛撫を…!?

し…しかし本当に
“聖なる大樹の雫”が
バオムール様の…だとしたら

やるしかない…!

…わ私にあなたを
満足させられるか
わかりませんが…

ちゅ

む？その程度では
くすぐったさも
感じられんが…仕方ない

私の舌で手本を
見せてやろう♡



あゝ♡
アゝ♡

わゝ！
あゝ♡

あら♡

落ち着け俺ッ…
謎に包まれてる精霊の
ことを知るチャンスだ…

こんな行動を取るなんて
思いもしなかったが…
冷静に観察をッ…

ちほ♡

ちほ♡

んん♡

うそ♡
あら♡

あら♡

だ…駄目だッ…
気持ちよすぎて

はっ♡

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡





今ぐらい思い切り
吸い付いてくるといい

は…っはひっ…♡

も…ものすごい
肉厚の乳首…♡

ちゅ

やればできるでは
ないか♡

ぐん



どんどん固く
なあって...エ...
エロい...ツ♥



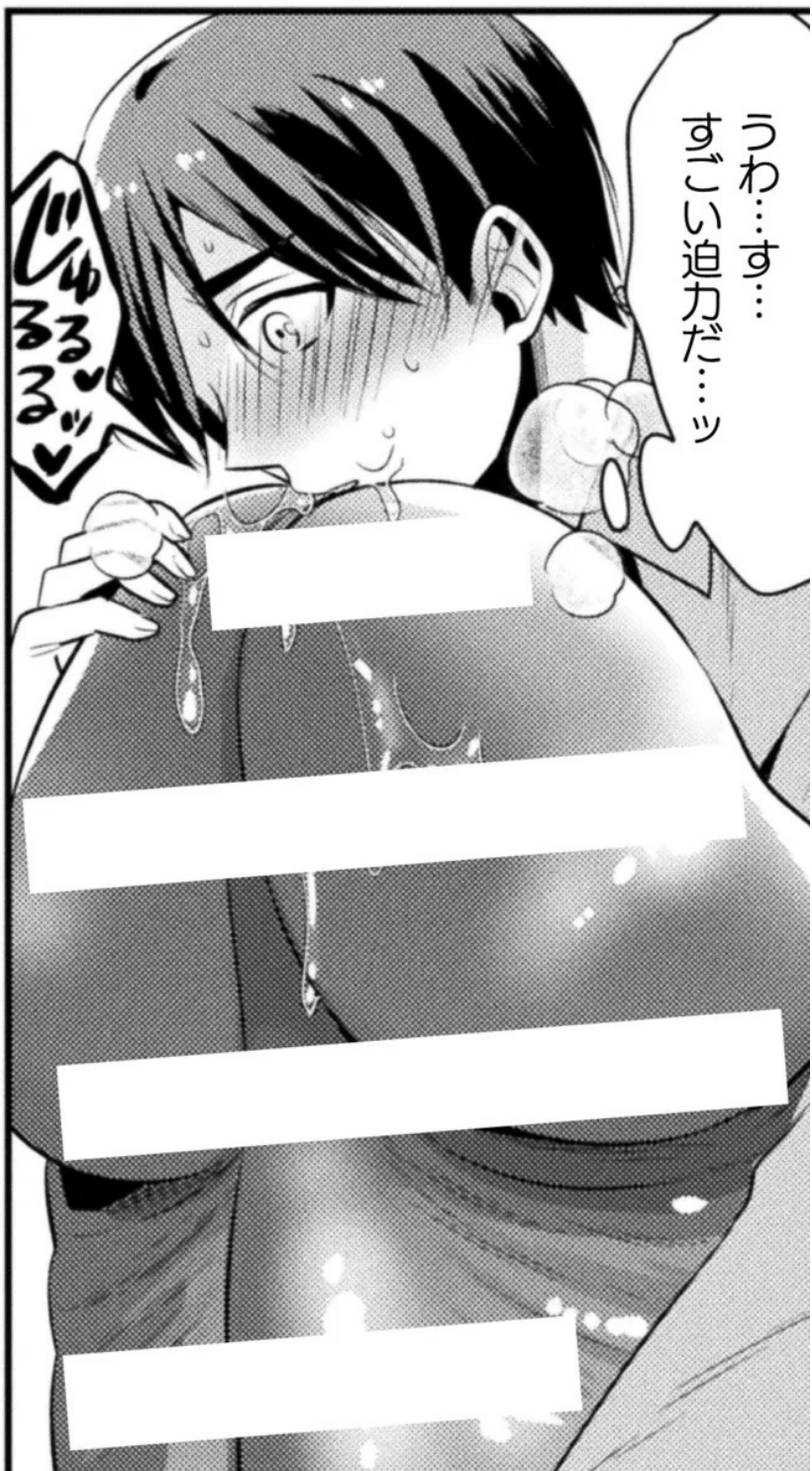
ジエイクの吸い付きで
たかぶ
我も昂^{たかぶ}ってきたぞ♥

次は...下の方も
吸ってもらおうか

えっ



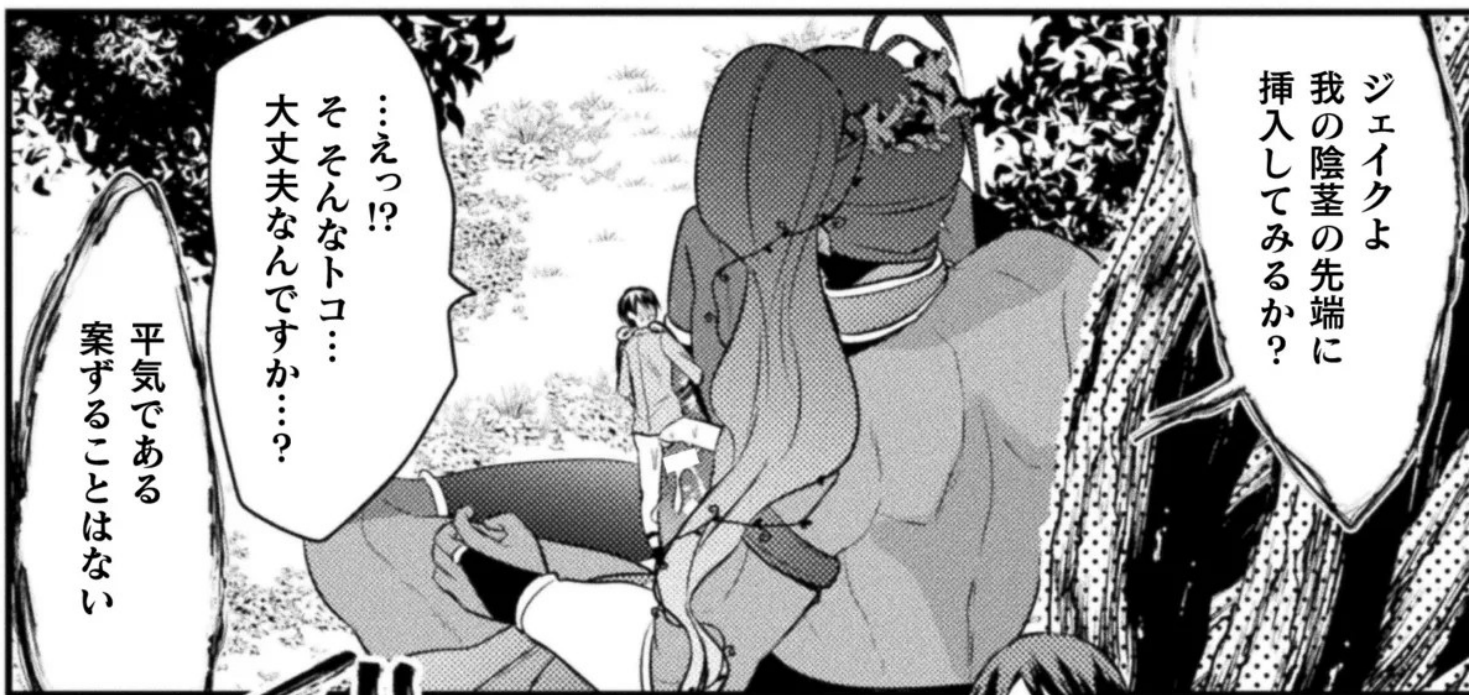
スッ







俺のちんぽが
どうしようもなく
刺激を求めているっ…♡



ジェイクよ
我の陰茎の先端に
挿入してみるか？

…えっ!?
そそんなトコ…
大丈夫なんですか…?

平気である
案ずることはない



そこへ挿入すれば
さらに快樂を得られるぞ？

さあ…来い♡







人間の小さい陰茎で
亀頭を犯される快感ッ♥
コすぎるぞおおおお〜ッ♥♥

うほ♥

お

ズチッ

お

これはあつ…♥
我も聖液を大噴出
してしまっつッ♥♥

ズチッ

もっ…もう駄目だっ…
精霊の唾液にまみれて
無様にイッてしまっうッ♡♡

んひひいッ♡
イクといいッ♡
精霊穴でイけッ♡♡

我もイクぞおっ♡
精霊のありがたき聖液を
全身に浴びるがいいッ♡♡

ポッ



ドン

ドン

ガッ

ドン

グッ

グッ



——バオムール様の
聖液を採取できたものの…

すごかった…

“聖なる大樹の雫”の
特徴と言われている
光は放っていないようです…



ふむ…やはり
私の靈力が弱まっていたか

え？



私は本来この大樹の中で
眠っておったのだが

おそらく長い間 靈力の源を
取り込んでおらんかったから
力が弱まり樹から
弾き出されていたのだろう



靈力が戻り聖液が光れば
お主の言う“聖なる大樹の雫”
とやらになるだろう

では…靈力を再び
取り戻すには一体…

私の靈力の源は
人間の精…

つまりお主が我に
精子を捧げ続ければ
いずれ靈力が戻るだろう♪



そそそれは
つまり私とバオムール様が
今後も…せ…性的な行為を…?



ジェイクよ
お主も気持ちよかった
のであろう?



私の霊力の復活に
協力してはくれぬか…?



はっ…
はいイイツ…♥

巨大な精霊と今後も
セックスなんて…
俺の力ラダ
もつのか…!?

つぶく





第2話

待っておったぞ
ジエイク

今日も我を
絶頂させてみせよ



ひよんなことから
この巨大な精霊
バオムール様と性行為を
続けることになったけれど…

が…頑張ります…

よし！もっと
こちらへ寄れ



あの何か準備など
必要かと思つて
色々用意してききましたが…

洗淨用具やタオル
潤滑剤などその他
役立ちそうな道具とか…

前回とんでもない
所へ挿入して
しまったし…

準備？

まだるっこしいな
不要だ

お主^{ぬし}の身ひとつ
あればそれでよい

ク
エ
イ
ン





バ：バオムール様の
舌が：！



下半身も舐めてやろう
脱ぐがいい

は…はい…



こ…これって
ディープキスに
入る…のかな…?



前回も下の方を
舐めると興奮しておったな







はぁ

ふふ…今度はお主が
私の尻穴を弄る番ぞ♡

はふ♡

はふ♡

はふ

あれ…

何か光って…？

光？
私の内部にか？

は…はい
中で何か
光ってます

ほう興味深いな

試しに中へ入って
何があるのか
確かめてくれぬか

……え？

な…中へ…ですか？

は。。



ほうそれは我も
知らなかったぞ

どれ試しに
触れてみるがいい

は…はいっ…

んばい

あー

は

は

は

わ

キュン

きゅん
きゅん

快楽が襲いかかって
くるようだあっ

もっとソコを
重点的にイジれっ♡

ほっ♡

ほっ♡

遠慮なしに
その気持ちいい穴を
ぐちゅぐちゅしろおっ♡♡

え!?
えっと…はいっ

すぢぢぢ…

こっ…こっ…ですかっ!?

気持ち
いいや…!?

ぬ
にゅっ?





ぶちゅーるッ!!



グハッ

し…締めつけが
すいっ…

ぐちゅっ♡

ぐちゅっ♡

ポユウウ♡

頭ん中ぐちゃぐちゃに
なるくらい
気持ちいい♡♡

はっ♡

んっ♡









…なあエディ

…はい
ロットさん



無意識とはいえ
締めつけすぎて
しまったか…

すまぬ…



…もしかしてなんだが
オレたちこの森で…

…もしかしくても
迷ってますね…

ジュン…

ジュンだも
「ジュン」って…

つづく



ブラックチェリーコミックス

巨精霊の性なる雫 第2話

漫画●ニワハニ

装丁●マイクロハウス

発行●株式会社キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル

編集部 TEL03-3551-6147 / FAX03-3551-6146

販売部 TEL03-3555-3431 / FAX03-3551-1208

© ニワハニ

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。

本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

<https://ktcom.jp/>

本作品のご意見、ご感想をお待ちしております

本作品のご意見、ご感想、読んでみたいお話、シチュエーションなど、どしどし
お書きください!! 読者の皆様の声を参考にさせていただきたいと思います。
手紙・ハガキの場合は裏面に作品タイトルを明記の上、お寄せください。

アンケートフォーム

<https://ktcom.jp/goiken/>

手紙・ハガキ・メールの宛先

〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル

(株) キルタイムコミュニケーション

ブラックチェリーコミックス感想係

メールアドレス blackcherry@ktcom.jp



